

県内の患者数

インフルエンザ	↗1054	1037	百日咳	→	0	0	
RSウイルス感染症	↗	35	27	ヘルパンギーナ	↘	1	4
咽頭結膜熱	↘	21	25	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↗	8	6
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	↗	89	80	急性出血性結膜炎	→	0	0
感染性胃腸炎	↗	814	696	流行性角結膜炎 (はやり目)	↗	15	9
水痘	↗	107	94	細菌性髄膜炎	→	0	0
手足口病	↘	10	21	無菌性髄膜炎	↗	1	0
伝染性紅斑 (りんご病)	↗	2	1	マイコプラズマ肺炎	↗	2	1
突発性発しん	↘	29	40	クラミジア肺炎	→	0	0

報告が多い感染症

- インフルエンザ
- 感染性胃腸炎
- 水痘

- インフルエンザは、報告数 1054件(前週報告数 1037件)と微増。地区別では、山鹿、菊池、人吉に多く報告がみられます。年齢別では、10~14歳の178件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 感染性胃腸炎は、報告数 814件(前週報告数 696件)と増加。地区別では、山鹿、菊池、有明に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の143件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 水痘は、報告数 107件(前週報告数 94件)と増加した。地区別では、人吉、八代、菊池に多く報告がみられます。年齢別では 2歳の26件を最多に主に8歳以下からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	290	4	5	18	178	26	2	1	10			1		13		1	1	
山鹿保健所	75				65								*	*				1
菊池保健所	144	6	8	32	155	13	1		8		1	1		1				
阿蘇保健所	35				5								*	*				
御船保健所	14	1			12							1	*	*				
八代保健所	124	3		3	71	21			1									
水俣保健所	29	11	1		30	3			1			1	*	*				
人吉保健所	89	3			61	16		1	1			1	*	*				
有明保健所	66	1	1	5	112	9	6		2					1				
宇城保健所	102	5	4	12	70	10	1		3			1	*	*				
天草保健所	86	1	2	19	55	9			3			2						
計	1054	35	21	89	814	107	10	2	29	0	1	8	0	15	0	1	2	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳 以上
インフルエンザ	1054	5	17	60	54	54	53	69	60	63	58	52	178	56	49	64	60	30	31	13	28
小児科定点年齢	合計	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	35	5	9	15	5	1															
咽頭結膜熱	21		2	7	1	4		2	2	1	1	1									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	89		1	2	3	7	15	17	14	3	5	7	10	2	3						
感染性胃腸炎	814	6	47	143	86	64	78	61	55	38	33	26	90	21	66						
水痘	107	3	4	25	26	22	13	8	3	1	1			1							
手足口病	10		1	3	2	3				1											
伝染性紅斑	2						2														
突発性発しん	29	2	10	16	1																
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	1			1																	
流行性耳下腺炎	8			1	2	2	1				1		1								
眼科定点年齢区分	合計	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	15												1	1	4			6	2	1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	1			1																	
マイコプラズマ肺炎	2			1	1																
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生

又は継続しつつある地域

- インフルエンザ : 山鹿、菊池、宇城、天草
- 感染性胃腸炎 : 有明、山鹿、菊池、人吉
- 咽頭結膜熱 : 菊池
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 : 菊池

インフルエンザ
感染性胃腸炎
再び増加!!



【インフルエンザ、感染性胃腸炎、引き続き警戒が必要】

今週のインフルエンザの報告数は、1054件と再び増加しました。山鹿、菊池、宇城、天草地域の警報レベルは継続中です。11地域のうち前週より報告数が減少したのは、水俣、人吉、天草の3地域だけでした。今後も引き続き 感染予防と拡大防止に努めてください。

◆インフルエンザを予防するために

- ① 手洗い・うがいを習慣づける
- ② 流行時には人混みを避ける
- ③ 栄養、休養、睡眠を十分に取る
- ④ 部屋の換気と保湿に心がける

◆インフルエンザにかかったら

- ① 早めに医療機関を受診し治療を受ける
- ② 学校や職場へは無理して行かない
- ③ 水分を十分に補給する
- ④ 咳エチケットを心がけ、外出を控える

今週の感染性胃腸炎の報告数は前週より100件以上増加しました。今季節はロタウイルスによるものが増加します。現在も発生は続いており、県内の高齢者施設でもノロウイルスの集団感染がありました。様々な原因により何度も感染性胃腸炎にかかることがありますので、今後も警戒が必要です。患者の便や嘔吐物の適正な処理、食事前やトイレの後の手洗いなど、感染予防対策を徹底しましょう。